

平成28年度決算に基づく財政健全化判断比率

区 分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断比率	—	—	4.2%	10.7%
早期健全化基準	15.00%	20.00%	25.0%	350.0%

健全化判断比率は、数値が大きいほど財政状況が悪化していることを示します。各比率の概要は、次のとおりです。

実質赤字比率：一般会計の赤字額の大きさを示します。赤字はなかったため「—」としています。

連結実質赤字比率：町全体の赤字額の大きさを示します。一般会計以外の特別会計にも赤字はありませんでした。

実質公債費比率：借金の返済に充てた額の大きさを示します。

将来負担比率：将来にわたって返すべき借金などの大きさを示します。

早期健全化基準：財政状況が悪化した状態とみなされる基準です。この基準を上回ると早期健全化団体となり、県知事の勧告を受けながら財政状況改善に取り組むこととなります。

町の平成27年度決算を基にした健全化判断比率は、いずれも早期健全化基準を下回っています。